

名古屋市要介護度等改善事例公表事業

改善・向上したこと

初詣レクの楽しみに加えて、ご利用者様の日課が出来た

事業所	サービス種別	介護老人福祉施設
	事業所名	なごやかハウス丸池
	所在地	名古屋市港区丸池町1丁目3番地
利用者	65歳未満 ・ 65～70歳 ・ 70歳代 ・ 80歳代 ・ 90歳～	

取り組み

課題（取り組み前の時点）	「他の人の為に、いろいろ手伝いたい。他者と関わりを持ちつつ、自分にできることを行いみんなの役に立ちたい。」と思っていた。		
本人の意向	生活の中で自分にやれることをやりたい		
長期目標	生活の中に役割を持つことが、他者とのコミュニケーションの場になったり、生活の中でやりがいや楽しさを感じることができる。	取組期間	令和3年4月24日～ 令和6年4月30日
短期目標	自分にできる役割を持ち、他者との関わるの場を増やすことができる。	取組期間	令和3年4月24日～ 令和6年4月30日
関連する加算の算定状況	なし		

具体的な取り組み事例（期間、頻度、内容、主に担当した職種など）
高齢者に馴染み深いイベントとして初詣レクを発案。A様が毎朝太陽に向かって手を合わせられているというヒントから、ご利用者様の普段の様子を職員から聞き取りし、認知症を有する方にとっても初詣（神社参り）は深く記憶に残っていると考え企画した。介護職員・看護職員により、初詣レクに向けて神社を作成（鳥居や祠、おみくじ、絵馬など）。 元々の案が介護職員から出たものだった為、職員がそれぞれ熱意を持ち、より本物に近い神社を作成することができた。
結果（達成したこと、達成時期）
初詣レク当日はA様をはじめ、たくさんの方にお参りを楽しんで頂き、笑顔はもちろん感動して泣いてしまわれるご利用者様もいらした。おみくじを気に入られた方の中には持ち帰られ居室に保管される方や、身体的に絵馬に文字を書くことが困難なご利用者様は職員が手を添えて代筆し、文字を書くことが難しいと考えていたご利用者様が自筆されることも見られた。レクリエーション終了後は、デイルームに祠を常設しているが、A様はご自分の役割として毎日お神酒（お茶）を交換し、手を合わせている。A様は新型コロナウイルスが施設内で蔓延した頃から、居室隔離などの影響で排泄の失敗や気分が落ち込まれ認知症が進んでしまったと思われる行動があった。しかし毎日の日課

として神社のお参りを始めたころから生活にメリハリが生まれ、気分が落ち込まれる事も減ってきている。

達成後の課題・目標

初詣レクは多くのご利用者様に楽しんでいただくことができた。今後ともご利用者様の心に寄り添ったレクリエーションを企画して行くことが必要である。

A 様に起きた変化は、A 様に限らず多くのご利用者様に共通する事だと思われる。施設内での生活の中で些細なことでもやりがいを持つことができる方が増えるよう、一人一人アセスメントし取り組んでいくことが今後の目標である。

※ 個人情報の取り扱いにご注意ください。

